

但馬地域公共交通計画の施策推進のための主な取組予定（令和7年度）

1. 兵庫県	1
施策③ バス路線の再編・再構築	
施策⑳ バス運転手・タクシー運転手確保に向けた PR 活動の実施	
2. 豊岡市	4
施策③ バス路線の再編・再構築	
施策⑤ デマンド型交通の導入	
施策⑦ 住民等が主体となった地域交通確保の取り組みへの支援	
3. 養父市	7
施策⑤ デマンド型交通の導入	
施策⑨ 新技術を活用した移動手段の検討	
4. 朝来市	9
施策③ バス路線の再編・再構築	
施策⑤ デマンド型交通の導入	
5. 香美町	11
施策⑥ タクシーの活用	
施策⑯ 駅待合環境の改善、駅舎の整備・改築、バス待合環境の改善	
6. 新温泉町	13
施策㉓ 鉄道の利便性向上、利用者数増加の取り組みの実施	
7. 全但バス	15
施策⑭ 鉄軌道車両、バス車両、タクシー車両のバリアフリー化	
施策㉑ バス運転手・タクシー運転手確保に向けた PR 活動の実施	

兵庫県

基本施策 1.地域路線の再編

施策③ バス路線の再編・再構築

生活交通ネットワーク再編等実証実験

- ・既存交通ネットワークの最適化を図るため、**市町が行う路線再編の実証実験を支援**
- ・路線再編の実証実験中も既存の路線バスの運行を維持するため、バス対策補助の特例を設定し、**路線バスの運行経費を支援**

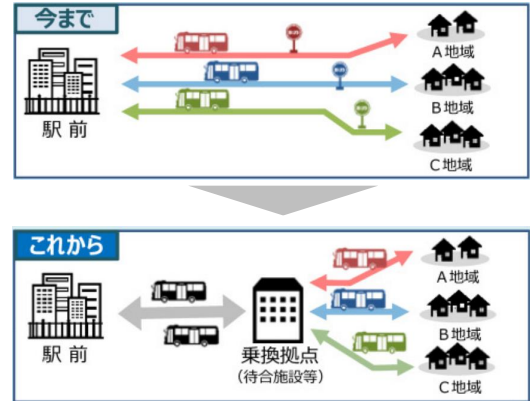
〈 実施内容 〉

● 路線再編の実証実験に対する支援

- ・市町が多様な交通モードの中から地域の実情に即した交通モードの選択、運用方法の検証が可能となるよう、現行制度を拡充する

区分	現 行	拡充後
実施主体	市町	市町
補助対象経費	ICTを活用したデマンド型乗合交通の実証実験経費	左記に加え路線再編のための実証実験経費
補助上限	1,000千円	1,000千円

路線再編のイメージ(一例)



3

基本施策 9.公共交通を担う人材の確保

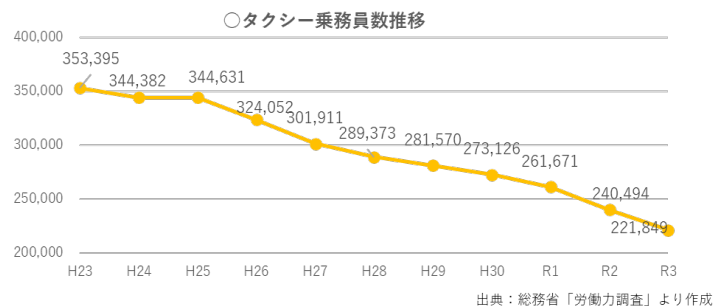
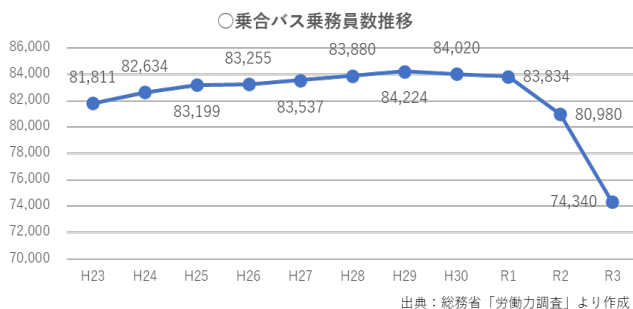
施策⑳ バス運転手・タクシー運転手確保に向けたPR 活動の実施

第2種免許等取得支援

公共交通ネットワークを維持するため、人材確保に取り組む路線バス・タクシー事業者の**第2種免許取得費用及び受験資格特例教習受講費用の一部を支援**

〈 実施内容 〉

- 対 象 県内の路線バス・タクシー事業者
- 補助要件 ①採用計画の作成、②補助金を活用する人材を採用後3ヶ月以上継続雇用すること
- 対象経費 第2種免許取得費用、受験資格特例教習受講費用
- 補助上限 バス：150千円/人、タクシー：100千円/人



施策②⑨ バス運転手・タクシー運転手確保に向けたPR 活動の実施

ドライブレコーダーの導入支援

運転士不足によるタクシーの輸送力低下が顕著となる中、**女性や若年層など多様な担い手を確保**するため、**運行管理の高度化により、運転士の安全な労務環境を整備**

＜実施内容＞

- **対 象** 県内に営業所を有するタクシー事業者
- **対象経費** ドライブレコーダー導入経費
- **補助上限** 車載器：40千円/1機器、事務所用機器：65千円/1機器 ※600千円/1事業所

◆兵庫県内におけるタクシー運転士の現状

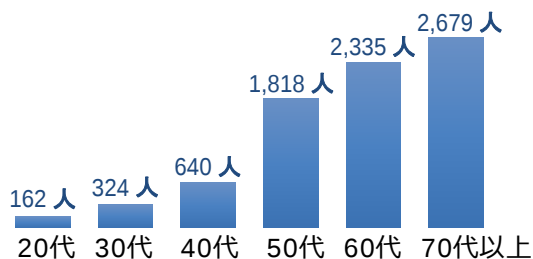
■運転士数の推移

- ・近年4年間で16%減少



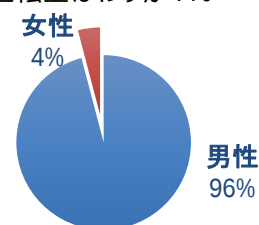
■年齢別運転士数（R6.11）

- ・運転士の高齢化が顕著（70代以上が約3割）



■運転士の男女構成比（R6.11）

- ・女性運転士はわずか4%



データ：一般社団法人兵庫県タクシー協会提供

豊岡市

基本施策 1.地域路線の再編

施策③ バス路線の再編・再構築

路線バスの系統新設に伴う自家用有償旅客運送の運行終了

<取組状況>

- バス路線の新設に際し、自家用有償旅客運送を利用していただ方の移動需要も勘案した運行ダイヤ等の設定を依頼
- 公共交通機関の乗り入れがなかった地域へも新たに乗り入れを行う
- 自家用有償旅客運送の利用者に対し、路線バスの運行ルート等周知を行う

<効果>

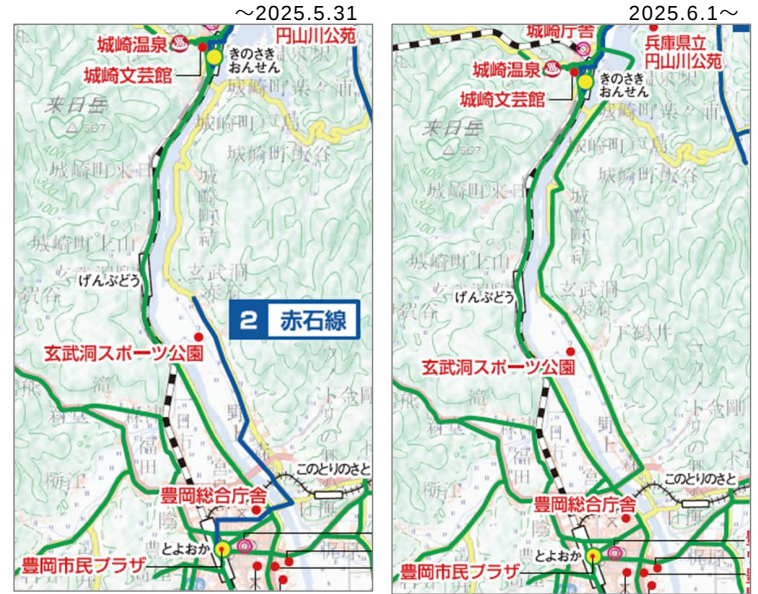
- 運行経路上に観光地もあり、市民の利用のみならず観光需要も見込むことができる
- 交通空白地の解消につながる

<課題>

- 一部道路幅員が狭い場所は乗り入れができていない

<次年度の取組予定>

- 日常生活と観光目的双方の移動需要を満たすダイヤ設定について、検証を行い利便性の向上を図る



凡例 — 自家用有償旅客運送 — 路線バス

9

基本施策 2.地域の実情に合わせた交通手段の導入

施策⑤ デマンド型交通の導入

竹野地域予約型乗合交通の導入

<事業目的>

- 住民の日常生活に必要な外出機会を確保するため、竹野地域に合った持続性、実効性のある公共交通サービスへの転換を図る。

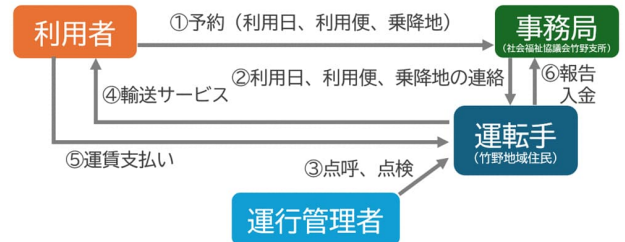
<事業内容>

- 路線バス「竹野線」、市営バス「イナカー竹野海岸線」を廃止し、事業者協力型自家用有償旅客運送による「予約型乗合交通」に転換する。

<事業概要>

	内容
運行日	週6日(月~土) 運行 うち、土曜日は時短運行
運行時間	月~金: 7時~19時、土: 8時~14時
車両台数	最大3台
運賃	地域内定額制運賃
乗降場所	各区内で2~3か所程度設定 公共施設等については、別途乗降場所として設定
地域運転手	11名(2025年4月現在)

<仕組み>



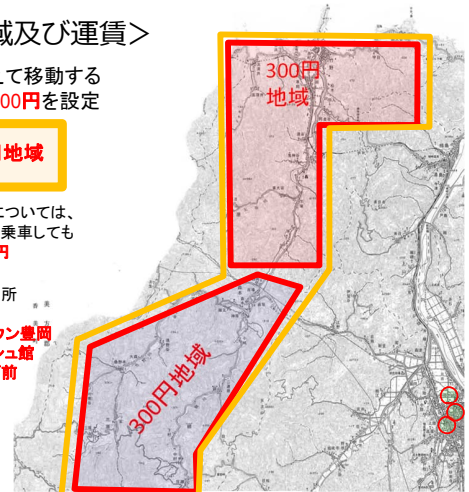
<運行区域及び運賃>

地域を超えて移動する場合は+200円を設定

500円地域

市街地乗入については、どの地域から乗車しても運賃は1,000円

市街地乗入箇所
・豊岡駅
・パザールタウン豊岡
・メガ・フレッシュ館
・コブデイズ前



施策⑦ 住民等が主体となった地域交通確保の取り組みへの支援

マイカー乗り合い交通「のんなるカー」実証事業

<取組状況>

- 実施主体：コミュニティたかはし「たかねっと」
豊岡市
- 運行主体：コミュニティたかはし「たかねっと」
- 運営体制：(1) 事務局、予約管理、ドライバー点呼
⇒コミュニティたかはし「たかねっと」
(2) ドライバー
⇒登録を受けた地域ドライバー 16名
- 運行期間：2024.12.21～2025.2.28
- 予約方法：(1) LINE
(2) 電話



<実績>

- 運行実績：20便
- 乗車人数：24名（実人数15名）※利用想定人数80名
- 予約実績：(1) LINE ⇒ 2件
(2) 電話 ⇒ 18件
- ドライバー従事：6名
- その他：住民を対象としたアンケートを実施

<効果>

- 市営バスの運行していない時間帯を「のんなるカー」で補うことにより、高齢者等の移動手段を確保できた。
- 「住民の移動手段の確保」が地域の課題として改めて認知され、課題解決に向けてドライバー活動に興味を示す住民がいる。（アンケート結果より）

<課題>

- 予めコースと乗降場所が設定されており、運行形態としては現行の市営バスと大きな差が無い。利用者の利便性に課題が残る。
- 利用規模に対し、予約システムやドライバーアプリ等の導入経費が高額である。
- 事故時はドライバー個人の保険を利用する等、マイカーを利用することに対する負担感が大きい。

<次年度の取組予定>

- アンケート結果を踏まえ、行政・地域双方が事業の検証を行い、地域に合った運行形態の確立を目指し、協議を続ける。

養父市

基本施策 2.地域の実情に合わせた交通手段の導入

養父市

施策⑤ デマンド型交通の導入

兵庫県養父市関宮小さな拠点整備事業

- 事業内容** 養父市旧関宮町域では、路線バス、コミュニティバス、自家用有償運送事業（やぶくる）、タクシーが運行しているが、必ずしも地域ニーズに応える交通体系にはなっていない。将来にわたり持続可能な公共交通を地域住民の乗車体験を通じて検討するため、令和5年度、6年度に引き続きデマンド交通実証実験を行う。
（『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（「共創モデル実証運行事業」）を活用）
- 実施時期** 11月～1月（68日間）予定
- 走行エリア** 養父市旧関宮町域
- 利用料** 有料
- 実施主体** 養父市、全但バス株式会社、一般財団法人日本自動車研究所、NPO法人但馬を結んで育つ会
NPO法人養父市マイカー運送ネットワーク、社会福祉法人養父市社会福祉協議会、セイノーホールディングス株式会社
- 実施結果** （参考）令和6年度実施結果 利用人数 延べ233人
実施期間 令和6年10月26日～12月1日



15

基本施策 3.新たな運営方法を用いた公共交通の導入

養父市

施策⑨ 新技術を活用した移動手段の検討

自動運転バス実証事業

- 事業内容** 養父市の地形的特色から、日常生活や業務活動に伴う移動の大半を自動車や路線バスに頼らざるを得ないが、人口減によりバスやタクシー事業者においても運転手不足が深刻化している。そこで高齢者の移動手段の確保やバス等の運転手不足などを踏まえ、その対応策の1つとして令和6年度に引き続き、自動運転バスの導入について検討を進め、ほかの公共交通維持対策事業とともに、持続可能な公共交通体系の構築に向けて取組を進める。令和7年度は車両を増やし、運行ルートを道の駅ようか但馬蔵まで延長することを計画しており、日常利用に加えて観光利用の必要性などを検証する。
（地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）を活用予定）
- 実施時期** 未定
- 走行ルート** JR八鹿駅-道の駅 ようか但馬蔵（予定）
- 利用料** 無料
- 自動運転レベル** レベル2
- 運転者** 同乗
- 実施体制** 養父市、BOLDLY（株）、全但バス（株）
- 使用車両** MiCa（エストニアAuveTech社 定員8名（運転者含む））
- 実施結果** （参考）令和6年度実施結果 利用人数 延べ598人
実施期間 令和7年1月27日～3月31日



朝来市

基本施策 1. 地域路線の再編

基本施策 2. 地域の実情に合わせた交通手段の導入

施策③ バス路線の再編・再構築

施策⑤ デマンド型交通の導入

朝来市デマンド型乗合交通の導入

<これまでの取組状況>

- 新たな公共交通体系の構築に向けた市民アンケート調査や公共交通ワークショップ等で得られた市民意見を基に、令和5年12月に朝来市地域公共交通網形成計画に基づいた第3次再編指針を策定。令和6年度から段階的（3つのエリアに区分）にデマンド型乗合交通を導入するとともに路線バスの再編を検討、実施。

<今年度の取組予定>

- 今年度中に市内全域でのデマンド型乗合交通の本格運行を開始する。

○生野エリア 本格運行開始済

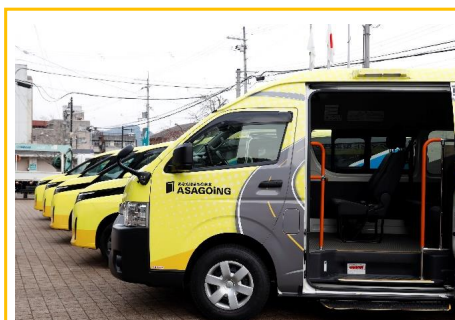
○朝来エリア 令和7年4月1日～ 本格運行開始

○和田山・山東エリア 令和7年4月1日～ 試験運行開始
令和7年10月1日～ 本格運行開始

※各エリアとも6か月間の試験運行を経て本格運行開始。

<今後の検討方針>

- 試験運行の結果等を分析し、本格運行に向け課題の把握、改善点等の検討を行う。
- 路線バス（幹線）との接続向上を図り、幹線の維持・充実に向けて路線バスの再編協議を行う。



運行開始したデマンド型乗合交通



利用案内（冊子）

香美町

施策⑥ タクシーの活用

障害者手帳等有者等へのタクシー割引事業の実施

<取組状況>

- ・ 障害者手帳所有者及び高齢者運転免許証自主返納者へのタクシー割引事業を実施

<事業概要>

- ・ 助成対象者 ①障害者手帳所有者、②高齢者運転免許証自主返納者
- ・ 助成金額等 ①町内で利用したタクシー料金の半額
②1回あたり200円の助成となるチケットを配布（1年あたり24枚×3年間）
- ・ 利用実績 ①、②あわせて1,012件 <令和6年度実績>
- ・ 利用者の声
「買い物等で日常的に利用するので非常に助かる」
「足が不自由なので、玄関先まで来てくれるのはありがたい」

<課題>

- ・ タクシー会社の営業所がない地域での運用方法

<次年度の取組予定>

- ・ 引き続き助成制度を運用し交通弱者の移動支援を行う

23

基本施策 5.交通結節店における利便性の向上

施策⑬ 駅待合室環境の改善、駅舎の整備・改築、バス待合環境の改善

駅待合環境の改善

<取組状況>

- ・ 香住駅の待合環境の改善と地元住民の鉄道利用の意識を醸成し、鉄道の日常利用の増加と駅の賑わい創出を目的にピアノを設置するとともに、「ステーションライブラリープロジェクト」を実施

<事業概要>

- ・ 待合室利用者が自由に利用できる「駅ピアノ」を設置
- ・ 香住駅待合室に設置した本棚にプロジェクト参加者が思い入れのある本や誰かに読んでもらいたい本を持ち寄り「ステーションライブラリー」を設置し、駅利用者と地域住民との繋がりをつくるプロジェクト

<次年度の取組予定>

- ・ 香住駅と他の駅との繋がりづくりについて検討を進める



新温泉町

施策③② 鉄道の利便性向上、利用者数増加の取り組みの実施

特急はまかぜ利用助成金事業

<これまでの取組状況>

- ・町民が特急はまかぜを利用した際の乗車券等の運賃を助成
- ・浜坂駅を発着とした乗車券及び特急券等の運賃総額の3割を助成

<効果>

- ・特急はまかぜの利用促進
- ・新たな需要（利用者）の発掘
- ・利用者数：延べ346人（令和6年度）

<課題>

- ・特急はまかぜのダイヤ編成（始発便及び最終便が浜坂駅発着ではないため不便）

<今年度の取組予定>

- ・事業の継続

広報チラシ



施策③② 鉄道の利便性向上、利用者数増加の取り組みの実施

「乗って守ろう！浜坂駅ペイ（仮称）」の実施

<取組状況>

- ・実施に向けた予算措置・内容調整中

<効果>

- ・町内、周辺住民への鉄道利用に対する意識啓発

<課題>

- ・観光客の利用が見込めないこと

<次年度の取組予定>

- ・今年度の状況を確認して調整



全但バス

施策⑭ 鉄軌道車両、バス車両、タクシー車両のバリアフリー化

低床化車両の導入

<取組状況>

- 保有車両93台のうち、54台に低床化車両（ノンステップ）を導入済（低床化率58.06%）

<効果>

- 高齢者等の利用者の安全性が確保できた
- 利用者の声
「乗り降りがスムーズになって利用しやすくなった」
「買い物等で日常的に利用するので助かる」

<課題>

- 導入経費が高額であること

<次年度の取組予定>

- 国、県の補助を受け、車両購入費用を縮減しながら、引き続き低床化車両の導入を進める



31

基本施策 9.公共交通を担う人材の確保

施策⑳ バス運転手・タクシー運転手確保に向けたPR 活動の実施

バス運転士募集説明会・体験会の実施 定住促進の取組

<取組状況>

- 実施日：①令和6年 6月23日（土）
② 8月25日（日）※
③ 11月10日（日）※
④ 12月 1日（土）
⑤令和7年 1月19日（日）
⑥ 3月23日（日）※

※女性限定

- 場 所：但馬空港ターミナル駐車場
- 協 力：ハッピー企画HUB TON TON
- 協 賛：豊岡公共職業安定所
- 後 援：豊岡市・養父市・朝来市・香美町・新温泉町

<効果>

延べ68人参加
バス運転士経験者の方も一定数あり、採用につながれば即戦力となる。

<課題>

- 定年退職運転士の補充
- 若年層の運転士の採用が極めて少ない

<次年度の取組予定>

- 次年度以降も関係機関と連携して実施していく。

